

## 第3回新居浜港長期構想検討委員会 議事録

1 開催日時：令和8年8月31日(月) 13時00分

2 開催場所：リーガロイヤルホテル新居浜 1階 石鎚

3 出席委員：出席者名簿のとおり

4 議事要旨

(1) 開会

(2) 委員長 挨拶

(3) 議事

i) 事務局から資料説明

ii) 意見交換

別紙のとおり

iii) その他

頂いた意見を取りまとめ、令和8年9月末に公表予定。

第3回新居浜港長期構想検討委員会 意見

| 委員区分  | 主な意見                                                                                                                                                                                      |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学識経験者 | <p>・委員会での意見を反映した案となっており充実している。20～30年先の方向性を作る構想として非常に魅力的で、四国全体、また四国と中国地方等を結ぶ拠点としての発展を強く期待する。新居浜市の都市・道路等関連計画との連動を進めるため関係機関の手厚いサポートを要望する。</p>                                                |
|       | <p>・幅広く細部まで目配りされた構想である。今後の港湾計画策定・見直しに向け、①理念・ビジョンを共有した意思決定・合意形成、②施策間シナジーと新居浜港全体をひとつのビジネスモデルと捉えたエコシステムづくり、③人材育成の具体的推進、④理念・ビジョンの「行動指針」への具体化が重要。</p>                                          |
|       | <p>・長期構想の内容に沿って一步一步実現に向け進めてほしい。一方、「環境・エネルギー」軸は国際情勢や技術変化（サプライチェーン途絶や廃製品からの資源回収等）により変容しうるため、将来変化を柔軟に組み込めるフレキシビリティを持った計画としてほしい。</p>                                                          |
| 港湾関係者 | <p>・新居浜港は住友が拓き100年活躍してきた港であり、これからの50年、100年に向け道路整備を含めた本構想の早期実現を望む。港の水深の浅さの解消や、沢津から東港にかけての耐震岸壁整備等、防災・減災対策も重要。初期投資は大きい港湾道路整備を推進してほしい。</p>                                                    |
|       | <p>・長期構想計画は地元道路等を含め立派な内容。重点港湾として発展する三島川之江港とうまく連動できるよう検討してほしい。またRORO船時代の到来を見据え、その観点からも同港との連携を考慮してほしい。</p>                                                                                  |
|       | <p>・長期構想は非常に素晴らしい案ができたと思う。しかし港を整備しても船や人が来なければ機能しないため、船員の育成・確保に重点的に取り組みたい。</p>                                                                                                             |
|       | <p>・物流にフォーカスして幹線道路を大型化すると、観光産業とのコンフリクト（大型トラックと観光車両の混在・渋滞）が生じるため、重点投資分野の選択や観光の具体的ビジョンを今から検討すべき。また、DXだけでは解決できない現場の「人間力」や、コンテナ置場・ドレージ確保等の課題にも対応が必要。</p>                                      |
|       | <p>・新居浜港の港外錨地を含めた瀬戸内海航路の航行等について、以前と異なる運用が可能になってきていることも踏まえ見落としのないよう進めてほしい。継続審議の中で柔軟な検討ができる構想としてほしい。</p>                                                                                    |
|       | <p>・新居浜港は高松・松山・高知など四国主要都市の「へそ」に位置し、その発展は四国全体の発展に寄与する。幹線道路や菊本沖アクセス道路の記載修正に感謝するが、計画を絵に描いた餅にせず、国道11号線接続や菊本沖への道路整備を早く実行してほしい。</p>                                                             |
|       | <p>・長期構想は物流・環境・災害・観光などあらゆる方向から作成されている。災害時のフェリーの役割については熟慮していきたい。企業城下町から発展する新居浜市に、貢献できるよう取り組みたい。</p>                                                                                        |
|       | <p>・船舶大型化に対応する設備整備に加え、港と連動する物流網の整備が欠かせない。東西方向や南北方向の道路渋滞が多く、その解消も必要。南海トラフ地震等への懸念を踏まえ、防災の観点も含めた物流網・道路整備が中長期的に重要である。</p> <p>・遊休地への新規事業誘致を検討しており、道路・港湾等地域インフラの充実は事業誘致を進める上で非常にありがたい支えとなる。</p> |

第3回新居浜港長期構想検討委員会 意見

| 委員区分 | 主な意見                                                                                                                  |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 行政機関 | <p>・長期構想は地元の港への期待・要望が網羅されている。今後は①港湾計画の変更（交通政策審議会への諮問）、②事業化（需要・コスト精査等）の2つを進めることが実現に必要。事業化にあたっては関係者の協力を得て内容を詰めてほしい。</p> |
|      | <p>・長期構想の実現によりこの地域がさらに発展することを期待する。計画の具体化にあたっては、所掌範囲及び法令に基づき連携していきたい。</p>                                              |